

「10. 情報共有による住民参加・対話のまちづくり」に関する事業のお知らせ
(見たい! 知りたい! まちのしごと 予算説明書より)

まちづくりレポート

第11回まちづくり町民講座、平成30年度まちづくり町民セミナーについて
8月から9月にかけて開催した内容を報告します。



第11回まちづくり町民講座

開催日：平成30年8月20日(月)

場所：田代保健福祉センター

テーマ：本当の自治のあり方について

講師：首都大学東京人文社会学部教授 山下 祐介 氏

演題：「これまでの地方創生
ー目指すべき自治のあり方とは?ー」

→ (講師の解説)

●錦江町人口ビジョン・総合戦略について

・各市町村単位で転出者を考えれば、バラバラになってしまうと考えられるが、つながりをどのように数値化(「見える化」)できるか考えることが重要である。

→ (錦江町で考えると) 鹿屋市への転出は多いが、錦江町にいる親族と転出者の関係がつながっている状況を構築していれば持続可能な状態を保っているといえる。

●自治体戦略2040構想研究会の第一次・第二次報告について

・新聞報道などで役場職員の人数を半分にするということではなく、半分でも今までどおりの行政運営をできるように準備していかなければならないことを示している。

→職員数も減っている状況で今後も行政サービスを維持できるように準備すべきであるということ。

・「圏域マネジメント」でもっと柔軟な行政運用をしていくべきである。

→市町村が頑張っているところを都道府県がサポートするということが今後もっと重要になってくる。

●その他

・ふるさと納税は集めることはいいが、「何へ対して使うために集めるのか」を明確にすべきである。さらに言えば、事業に賛同してくれる人から寄付をしていただく体制を構築したほうがいい。

→クラウドファンディングなどで事業費を集めることができるようになれば、もっといい体制である。

まちづくり町民講座

今後のテーマは予算編成、空き家対策、医療関係を予定しています。

次回の広報誌で案内しますので、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

問合せ：錦江町役場総務課 ☎ 22-0511

担当：川前・川路・小川

次回は
11月開催



平成30年度まちづくり町民セミナー

開催日：平成30年9月26日(水)

場所：文化センター2階会議室

講師：関西学院大学人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

演題：「錦江町のこれから
ー持続可能なまちづくりー」

→ (講師の解説)

●錦江町について

講演会の結論＝錦江町はやりたいことができる財政の体力がある。

→過程を踏まえて、やりたいこと、やるべきことをきちんと住民と一緒に考えて進めていくことが重要である。

・何かをやっていかなければならない状況であること。

→転換期であるということ、これまでの経験や方法が通用しない。

・デフレ社会で経済が縮小してきた。

→「自信を失い、何もできない状況である」という意識が蔓延していることを認識しなければならない。

・1度財政破綻した夕張市では、市内にある道立高校への進学が急に減った。中学卒業と同時に世帯ごと近隣の札幌市へ転出することが多くなった。

しかし、「夕張市の再生方策に関する検討委員会」を設置し、財政再建と地域再生の調和に向けて検討を行ってきた。今は夕張市の債権が軌道に乗ってきたので、次第に道立夕張高校の進学率が増えていった経緯がある。

→住民は一時夕張市を住むところではないと感じてしまった。錦江町はすぐにそのような状況ではないと感じる。

●社会の生きづらさ

・現在の社会は何か生きづらさを感じているのではない。少しでも若者の生きづらさを和らげるようにすべきである。そうしなければ出生率は上がらない。

→多様な家族と働き方のスタイルに応じて、子供が生んで育てられる環境をつくるのが大切である。そのためには子育てを社会的に支援していかなければならない。

・(あるべき姿) サザエさんとちびまる子ちゃん
(現実) 核家族化

→あるべき姿は、三世代の家族構成。今は多様な社会である。意識の乖離を今後受け入れていかなければならない。